

まほらいな市民大学の様子

令和7年5月15日（木） 地域めぐり講座

『高遠城址公園と高遠町歴史博物館・信州高遠美術館』

講師 高遠案内「ふきのとうの会」、歴博館長 塚田博之氏 美術館館長 捧 剛太氏 ほか



若葉・青葉の中、一日かけて高遠地区をめぐる講座を行いました。

「高遠城址公園」では、4つのグループに分かれ、高遠案内「ふきのとうの会」の伊藤徳波さん、北原紀孝さん、藍澤 彰さん、山崎隆男さんからガイドをしていただきました。高遠城の戦いと仁科五郎信盛、保科正之公、進徳館で学んだ人たち、伊澤修二、伊澤多喜男、中村不折など、実際に城址を歩きながら学びました。

「高遠閣」で各自持参したお弁当をとり、午後は博物館・美術館へ行きました。高遠町歴史博物館では塚田博之館長、福澤浩之学芸員からの話の後、春季企画展『高遠石工 守屋貞治の美意識』をじっくり見学しました。次は信州高遠美術館へ行きました。捧剛太館長と佐伯有香学芸員から説明を受け、『～昭和100年～収蔵作品秀作展「伊那に伝わる美の系譜」』をゆっくり鑑賞しました。高遠城址公園をしんかり学んだ一日となりました。

学生からは「高遠には桜、バラ、他の時にも来ているが、今日のように時間をかけて回るのは初めてでとても新鮮でした。」「今までの市民大学の高遠石工の講義や桜大学で学んだことが、今日歩いたことで身近になり、それらが繋がったように思いました。」「作品の見方を学芸員さんから教えてもらい、いろいろな角度から鑑賞することができた。」

「一日歩きつかれたけど、気持ちのよい一日でした。何年かぶりのお弁当作りも楽しかった。」「田山花袋の『高遠は 山すそのまち 古きまち ゆきあう子等の 美しきまち』の詩を深め、愛着の持てる良い一日になった。」といった感想がありました。